



看護部通信



庚子

つい少し前までは猛暑に悩まされていたのに、9月も終わります。朝晩はすっかり冷え込み、すっかり秋になった今日この頃です。旭岳には初冠雪の知らせも届きました。

先日 7 階会議室において『これからの慢性期医療と看護の在り方』と題する慢性期看護セミナーを WEB 配信にて数人で視聴しました。新型コロナウイルス感染症対策の一環としての WEB 研修です。私自身も初の WEB 研修を受けましたが、少々臨場感には欠けるものの思っていたよりは違和感なく受けることができました。

これからは学会もはじめ、この形での学びが多くなるのだろうな、という印象でした。今回の研修では基調講演のほかに『褥瘡・局所管理とスキントラブル対策』『栄養管理』もありました。ここで学んだポイントは課長・主任達から病棟スタッフへ学習会として伝達していきます。すでに取り入れてケアを実践している病棟もあります。皆で共有して安心安全なケアの提供に努めていきましょう。(横田 倫子)



通信リレー

5F アシスタントの遠藤 千鶴子 です。来年の 2 月で入社 10 年になります。小学生だった二人の子供たちも社会人、専門学生になりました。一人一人と家から旅立ち、とても寂しい日々です。でも、うちには救世主がいます!! 😊

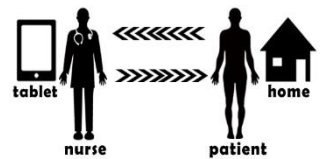


それは元野良猫の『チビちゃん』です。私や夫の話を真剣な顔で聞いてくれて、たまには「ニャン！」と返してくれるのです。入社 15 年目、20 年目と言えるように、猫、たまには子供たちに癒されながら頑張っていきたいと思えます。



『テレナーシング』って？

総務省が 2019 年に発表した「令和元年度版 情報通信白書」によればスマートフォンの保有割合は 79.2%、個人のインターネット利用率は 79.8% で通信環境が整備されてきていることを実感できる数字となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、人々の生活スタイルが変容し、オンライン診療をはじめとした遠隔医療が急速に普及してきています。テレナーシングもその一つです。日本では 2000 年代初頭よりシステム開発が模索され、限定的な運用ではありますが 2018 年から診療報酬も新設されました。テレナーシングの取り組みとは遠隔地からモニタリングを行う看護師(テレナース)が在宅療養者の心身の状態をもとに行う看護観察や遠隔コミュニケーションによる看護相談や保健指導をさします。住み慣れた自宅で安定した日常を過ごしつつ外来受診や訪問看護の狭間を埋め、療養者への適切な観察と看護相談ができることは最大の特徴と言えます。これからさらに普及していくことでしょう。



Telenursing

9月 長月



9月は夏と秋の境目とした季節です。

日本では、9月を長月ともいい、その由来は、「夜長月(よながつき)」の略であるとする説が最も有力です。他に、「稻刈月(いねかりづき)」が「ねかづき」となり「ながつき」となったという説、「稻熟月(いねあがりづき)」が略されたものという説があります。また、「寝覚月(ねざめつき)」の別名もあります。

英語での月名 September は、ラテン語表記に同じで、これはラテン語で「第 7 の」という意味の「septem」の語に由来しています。7 月と 9 月の不一致が生じているのは、紀元前 153 年に、それまで 3 月を年の始めとしていた慣例を 1 月に変更したにもかかわらず、名称を変えなかったために September がそのまま残っています。

日本の学校年度や会計年度は大半が 4 月始まりであります。世界に目を向けると 9 月を採用している国はアメリカ合衆国、カナダ、ヨーロッパ等と数多くあります。

September

